

改正

平成25年5月29日告示第92号

平成26年1月1日横書き施行

平成27年12月28日告示第133号

上里町住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）又は戸籍法（昭和22年法律第224号）の規定により住民票の写し等を第三者に交付した場合において、事前に登録をした者に対し、その交付の事実の通知をする制度（以下「本人通知制度」という。）を実施することにより、住民票の写し等の不正請求及び不正取得による個人の権利の侵害の防止を図ることを目的とする。

(定義)

第2条 この要綱において「住民票の写し等」とは、次に掲げるものをいう。

- (1) 住民基本台帳法の規定による住民票の写し（同法第7条第5号に掲げる事項が記載されたものに限る。）、住民票に記載をした事項に関する証明書（同法第7条第5号に掲げる事項が記載されたものに限る。）及び戸籍の附票の写し
- (2) 消除された住民票の写し（戸籍の表示が記載されたものに限る。）、消除された住民票に記載をした事項に関する証明書（戸籍の表示が記載されたものに限る。）及び消除された戸籍の附票の写し
- (3) 戸籍法の規定による戸籍の謄本又は抄本、磁気ディスクをもって調整された戸籍又は除かれた戸籍に記載されている事項の全部又は一部を証明した書面、戸籍に記載した事項に関する証明書（戸籍届出書に係る証明書を除く。）、除かれた戸籍の謄本又は抄本及び除かれた戸籍に記載した事項に関する証明書

2 この要綱において「第三者」とは、次に掲げる者をいう。

- (1) 住民基本台帳法第12条第1項又は第20条第1項の規定により住民票の写し等を請求（同規定を準用し請求する場合を含む。）する者の代理人

- (2) 住民基本台帳法第12条の3又は第20条（第1項及び第2項に係る部分を除く。）の規定により住民票の写し等が必要である旨の申出をする者
- (3) 戸籍法第10条第1項（同法第12条の2において準用する場合を含む。）の規定により住民票の写し等を請求する者の代理人
- (4) 戸籍法第10条の2（第2項に係る部分を除く。第12条の2において準用する場合を含む。）の規定により住民票の写し等を請求する者
(対象者)

第3条 本人通知制度の対象となる者は、次条第1項に規定する事前登録の申込の日において、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 住民基本台帳法の規定により本町の住民基本台帳又は戸籍の附票（消除された住民票又は除かれた戸籍の附票を含む。）に記録されている者
- (2) 戸籍法の規定により本町が作成した戸籍（除かれた戸籍を含む。）に記載されている者

2 前項の規定にかかわらず、死亡した者又は失踪宣告を受けた者は、対象としない。
(事前登録の申込み等)

第4条 前条に規定する対象者で本人通知制度の利用を希望する者（以下「申込者」という。）は、あらかじめ上里町本人通知制度事前登録申込書（様式第1号）により、町長に登録（以下「事前登録」という。）を申し込まなければならない。

2 前項の場合において、申込者は、本人による申込みであることを証するため、個人番号カード、旅券、運転免許証、官公署が発行した免許証、許可証又は登録証明書等（本人の写真が貼付されたものに限る。）その他の町長が適当と認める本人であることを証する書類を提示し、又は提出しなければならない。

3 第1項の申込みを代理人によりしようとするときは、代理人について前項に定める本人であることを証する書類のほか、次に掲げる区分に応じ、当該各号に定める書類を提示し、又は提出しなければならない。

- (1) 法定代理人 戸籍謄本その他法定代理人の資格を証明する書類。ただし、本町に備付けの公簿等の記載により当該事実が判明する場合は、これを省略することができる。

(2) 法定代理人以外の者 委任状

4 申込者が次の各号のいずれかに該当するときは、郵便又は民間事業者による信書の送達に関する法律（平成14年法律第99号）第2条第6項に規定する一般信書便事業者又は同条第9項に規定する特定信書便事業者による同条第2項に規定する信書便により、第1項の申込みをすることができる。

(1) 疾病その他やむを得ない理由により直接申込みをすることができない場合

(2) 他の市区町村に居住している場合

(事前登録等)

第5条 町長は、前条の申込みがあったときは、その内容を審査し、適当と認めるときは、上里町本人通知制度事前登録者名簿（様式第2号。以下「登録者名簿」という。）に登録するものとする。

2 町長は、前項の規定により登録者名簿に登録したときは、事前登録をした者（以下「事前登録者」という。）であることを確認できるよう必要な措置を講じなければならない。

(事前登録の変更等)

第6条 事前登録者は氏名、住所、本籍、その他事前登録をした内容に変更が生じたとき、又は事前登録を廃止しようとするときは、上里町本人通知制度事前登録（変更・廃止）届出書（様式第3号）により町長に届け出なければならない。

2 第4条第2項から第4項までの規定は、前項の届出について準用する。

(本人通知)

第7条 町長は、名簿登録日以降に第三者からの請求又は申出により事前登録者に係る住民票の写し等を交付したときは、上里町住民票の写し等交付通知書（様式第4号。以下「通知書」という。）により当該事前登録者にその旨を通知するものとする。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、この限りではない。

(1) 住民基本台帳法第12条の3第4項第5号（同法第20条第5項の規定により準用する場合を含む。）の政令で定める業務に係る申出により交付したとき。

(2) 戸籍法第10条の2第4項又は第5項（同法第12条の2の規定により準用する場合を含む。）に掲げる業務に係る請求により交付したとき。

(3) その他町長が特別な事情があると認めたとき。

2 前項に規定する通知書には、次に掲げる事項を記載する。

(1) 住民票の写し等の交付年月日

(2) 交付した住民票の写し等の種別及び通数

(3) 交付した住民票の写し等の交付請求者の種別

(事前登録の廃止)

第8条 町長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、当該事前登録を廃止するものとする。

(1) 第6条第1項の規定による廃止の届出があったとき。

(2) 第7条第1項の規定による通知書が返戻されるなど、第6条第1項の規定による変更の届出がされていないことを町が把握したとき。

(3) 住民票の写し等が保存期間を経過したとき。

(4) 事前登録者が死亡し、又は失踪宣告を受けたとき。

(5) 住民基本台帳法施行令（昭和42年政令第292号）第12条第1項の規定により住民票が職権消除されたとき。

(6) 虚偽による登録その他町長が特に事前登録を廃止する必要があると認めたとき。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、町長が定める。

附 則

この告示は、平成22年6月1日から施行する。

附 則（平成25年5月29日告示第92号）

(施行期日)

1 この告示は、平成25年6月1日から施行する。

(経過措置)

2 この告示の施行の際、現に改正前の上里町住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度に関する要綱第5条の規定による上里町本人通知制度事前登録者名簿に事前登録されている者は、この告示による改正後の上里町住民票の写し等の第三者交付に係る本

人通知制度に関する要綱第5条の規定による上里町本人通知制度事前登録者名簿に登録されている者とみなす。

附 則（平成27年12月28日告示第133号）

（施行期日）

1 この告示は、平成28年1月1日から施行する。

（経過措置）

2 この告示による改正後の上里町住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度に関する要綱第4条第2項の規定の適用については、この告示の施行の日前に交付された住民基本台帳カード（本人の写真が貼付されたものに限る。）は、当該住民基本台帳カードがその効力を失う時までの間は、個人番号カードとみなす。

様式（省略）